

# まちなみの歴史

松ヶ崎のまちなみのもととなったのが条里制である。条里制とは範囲をきまった測り方で六町ごとに区画する制度のこと。縦六町を「条」、横六町を「里」とし、この縦横を六等分した区画を「坪」という。

松ヶ崎の六ノ坪町という地名に、この条里制の名残を見ることができる。六ノ坪は「坪」を「一ノ坪」から数えたとき、6番目にあたる坪を表している。現在の六ノ坪町は五ノ坪と六ノ坪を合わせた部分と一致するようだ。



松ヶ崎を縦横に流れる水路もこの条里制の区画をもとにつくられている。水路は灌漑・防火用水としての機能だけでなく、生活用水としても村の人々の暮らしと密接な関わりを持っていた。松ヶ崎の山沿いを東西に流れる前川周辺にはその名残が今でも見られる。

そのひとつが川の水を利用しやすいように、川岸を一段低くして設けられた洗い場である。昔人々は野菜を洗ったり米を研いだりし、子どもたちははや・どじょう・しじみなどを捕まえて遊んでいた。

このように普段見慣れている松ヶ崎のまちなみは、長い歴史の積み重ねによって成り立っている。まちを歩きながら、その歴史を想像してみるのはいかがだろうか。

- 26 宝が池公園**  
かねてからの公園化計画は1959年、国際会館の建設が決定してから大幅に進んだ。四季を通じて豊かな自然が楽しめる。ジョギングやウォーキングで訪れる人も多い。区の広域避難場所。
- 27 井出ヶ鼻井堰**  
松ヶ崎を流れる水は全て井出ヶ鼻井堰から取り入れられる。高野川の増水時の閉門は自動で行われるが、開門は地元の水役により手動で行われている。
- 28 前川**  
旧街道沿いを流れる前川。灌漑用水をはじめ、消防用水や生活用水としても使われ、古くから松ヶ崎の人々の暮らしに身近な存在であった。
- 29 泉川**  
井出ヶ鼻井堰から引かれた水は松ヶ崎を東から西へと流れて、最終的にこの泉川に集められ、下鴨神社へと流れる。
- 30 高野川**  
八瀬・大原から松ヶ崎の東側を通って出町柳で賀茂川とつながり、鴨川となる。桜並木、ホテルなど四季の変化を感じさせてくれる。
- 31 松ヶ崎浄水場**  
1927年に竣工し、水の需要に対応するため、西山の「妙」の上部に最高区配水池を設置した。給水区域として、京都市の北部と西部を受け持っている。
- 32 第二疎水分線**  
1890年に琵琶湖疏水の本線と一緒に支線が完成した。現在はお花見のスポットとしても有名である。

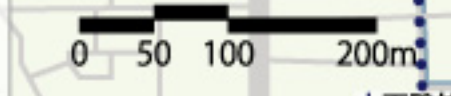


- 14 聖光幼稚園**  
1926年アメリカの宣教師、ミス・スカイルスが日曜学校を開き、後に聖光幼稚園となった。当時キリスト教は人々になじみの薄いものだったが、最近では多くの子どもたちが通っている。
- 15 左京区総合庁舎**  
吉田の旧庁舎の老朽化に伴い、2011年に松ヶ崎新庁舎へ移転。地域のまちづくり活動や住民の交流の場として、区民交流スペースが設けられている。
- 16 京都工芸繊維大学**  
1899年大將軍に設立された京都養蚕講習所、1902年吉田に設立された京都高等工芸学校(1930年に松ヶ崎に移転)を母体として、1949年に設立された国立大学。ISO14001 認証取得。
- 17 松ヶ崎児童館**  
0~18歳の子どもは誰でも自由に来館でき、年間を通して様々な行事が行われている。共働き、一人親家庭のこどもの保護や育成も行う。
- 18 葵小学校**  
1929年に京都市第二下鴨尋常小学校として創設され、1941年に京都市立葵小学校と校名が変更された。

**凡例**

- 広域避難場所
- ホタルスポット
- お花見さんぽコース(約5.0km・1時間15分)
- 里山トレッキングコース(約4.0km・1時間15分)
- 水路めぐりコース(約4.2km・1時間)
- 歴史探訪コース(約2.2km・45分)

- 9 京都ノートルダム女子大学**
- 10 松ヶ崎駅(京都市営地下鉄烏丸線)**  
1997年に地下鉄国際会館-北山間の開通とともに開業した。京都駅までを約18分で結ぶ。
- 11 北山通**  
1985年全面開通した松ヶ崎の東西のメインストリートである。近年はウェディングストリートとしても有名。
- 12 松ヶ崎小学校**  
今の校舎のあたりに妙泉寺があり、早くから寺子屋が開かれたが、学制発布によって1873年に小学校として創設。1947年京都市立松ヶ崎小学校となる。
- 13 松ヶ崎保育園**  
1926年、涌泉寺の住職・深見輝宏が檀家農家の幼児を対象に託児所として信行幼稚園を開く。1950年に松ヶ崎保育園となる。



- 1 宝が池公園スポーツ広場**  
身近にスポーツを楽しむ場として人々に親しまれており、球技場ではサッカーやラグビーの試合も行われる。近年子ども体育館がオープン。区の広域避難場所。
- 2 きつね坂**  
平安時代から存在したといわれる。木が茂って行き来する人で木がすれることから、「木列坂」という名が付き、それがなまってきつね坂となったそう。
- 3 宝が池公園こどもの楽園**  
1964年、それまで市営競輪場があった場所に整備された。その競輪場のスタンドは近年まで残されていたが、老朽化のため撤去された。京都市内の子どもたちの大好きな遊び場である。
- 4 立正会館**  
1980年に地域の公民館、送り火などの民俗文化保存継承の拠点として建設された。1階には農家から集めた昔の農具などが保存され、2階は会合などのために地域住民に開放されている。
- 5 涌泉寺**  
日蓮上人の教えで天台宗から日蓮宗に改宗した妙泉寺と、日生上人によって日蓮宗の学舎として創建された本涌寺(松ヶ崎墳林)が1918年に合併してできた。
- 6 妙円寺(松ヶ崎大黒天)**  
1616年に建立され、「松ヶ崎の大黒さん」と呼ばれて親しまれている妙円寺。都七福神のひとつ。伝教大師がつくったといわれる、商売繁盛や豊作をもたらす大黒天が祀られている。
- 7 国立京都国際会館**  
1966年にオープンして以来多くの主要な会議に用いられている。京都議定書が締結された場所でもある。日本古来の合掌造りを取り入れ設計された。
- 8 北山ふれあいセンター**  
2009年にオープンした、様々な人のふれあいのための複合施設。障害者就業支援事業所、老人デイサービスセンター、児童館などを備えている。
- 9 京都ノートルダム女子大学**  
2009年工繊大との連携協定を結ぶ。国立理工系大学と私立女子大学という新しい大学間連携として注目されている。
- 10 松ヶ崎駅(京都市営地下鉄烏丸線)**
- 11 北山通**
- 12 松ヶ崎小学校**
- 13 松ヶ崎保育園**

